

=区民の皆さんに予算を理解していただくために=

平成23年度（2011年度）

# 区民のための 予算ハンドブック

健康福祉費	¥4,344
区民生活費	¥1,144
教育費	¥994
公債費	¥879
総務費	¥859
都市整備費	¥815
環境清掃費	¥515
産業経済費	¥349
議会費	¥78
予備費など	¥23

予算1万円の使い道



目黒区

このハンドブックは、目黒区ホームページにも掲載しています。

<http://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/soshiki/kikakukeiei/zaisei/index.html>

※ 数値については、原則として表示単位未満を四捨五入し、端数調整をしていないため、合計等と一致しない場合があります。

## は じ め に

目黒区では、区民の皆さんに区政に関する情報をわかりやすく、積極的に提供するよう努めています。

この「区民のための予算ハンドブック」は、その一環として、平成23年度当初予算について、収入・支出が全体としてどのような姿となっているのか、また、どのような施策が盛り込まれているのかを、グラフや写真などをなるべく多く取り入れてわかりやすく説明したものです。

本区の財政は、23年度の特別区税においては前年度当初予算に比べ30億円余の減少が見込まれるなど、景気の低迷に伴う歳入の大きな減少が見込まれています。これにより生じた財源不足は区の貯金である基金を活用して対応していますが、この基金の残高もここ数年で大きく減少し、基金残高の枯渇が懸念される状況となっています。

平成23年度予算は、このような厳しい財政状況の中、緊急財政対策本部を設置して優先度に基づき事務事業を見直し、歳出の削減を行うとともに、行財政運営基本方針で定めた「3つの重要課題」への対応を積極的に進めることで、「住みたいまち、住み続けたいまち目黒」の実現を目指す内容としています。これらの施策内容のほか、一昨年度と昨年度に引き続き計上した緊急経済対策経費や本年度新たに計上した経費の主なものをご紹介します。

また、「区の予算の使い道」をご理解いただくため、区民の皆さんに身近な事業を取り上げ、事業内容と予算をご紹介しています。今回は、「目黒本町福祉工房の開設」、「緑が丘駅周辺地区都市再生交通拠点整備事業」の2事業としました。

この冊子が、区の予算について一層のご理解をいただくための一助となれば幸いです。

平成23年5月

目 黒 区

## 目 次

1 予算編成方針 .....	1
2 予算規模 .....	1
3 一般会計予算の概要 .....	2
(1) 歳入予算 (区の収入) .....	2
(2) 歳出予算 (区の支出) .....	4
4 暮らしサポート 23 ~区民の暮らしを支える緊急経済対策~ .....	6
5 実施計画事業一覧 .....	9
6 重点化対象事業等 .....	14
重要課題 (1) 生活の安心を確保する取り組み .....	14
(2) 次代の目黒を拓く取り組み .....	22
(3) 愛着と誇りをもてる目黒らしさのある取り組み .....	29
その他の主な新規・臨時経費など .....	31
7 特別区債 (区の長期借入金) .....	42
8 積立基金 (区の貯金) .....	42
9 特別会計財政規模の推移 .....	43
(1) 国民健康保険特別会計 .....	43
(2) 老人保健医療特別会計・後期高齢者医療特別会計 .....	43
(3) 介護保険特別会計 .....	44
(4) 用地特別会計 .....	44
参考資料 .....	45
23年度に実施する特色ある事業 .....	46
目黒本町福祉工房の開設 .....	46
緑が丘駅周辺地区都市再生交通拠点整備事業 .....	49
行財政改革の推進 .....	51
類似団体との財政状況比較 .....	56

## 1 予算編成方針

国による景気の基調判断では「足踏み状態」との認識が継続的に示されており、慢性的ともいわれるデフレの影響や失業率が高水準で推移する厳しい雇用情勢から、今後も先行き不透明な景気情勢の継続が懸念されています。本区では、一昨年、昨年と、「暮らしサポート21」、「暮らしサポート22」として緊急経済対策を実施してきました。今後も景気の動向が予断を許さない厳しいものとなることが見込まれることから、引き続き23年度においても「暮らしサポート23」として緊急経済対策に取り組みます。

また、23年度は、特別区税が22年度当初予算に比べ30億円余も減少するなど歳入に大きな落ち込みが見込まれています。また、財源不足への対応のための基金残高もここ数年で大きく減少しています。このような状況から「緊急財政対策本部」を設置し、優先度に基づく事務事業の見直しを行い、歳出の削減を図ります。

23年度予算は、「区民の暮らしを守り支え、明日を拓く予算」と位置づけ、厳しい財政状況の中、行財政運営基本方針で定めた3つの重要課題である「生活の安心を確保する取り組み」、「次代の目黒を拓く取り組み」、「愛着と誇りをもてる目黒らしさの取り組み」への対応を積極的に進めることで、「住みたいまち、住み続けたいまち目黒」の実現を目指す内容としています。

編成手法としては、枠配分方式を継続することで、一般財源ベースによる予算の総額管理を行い、計画的な編成と、重要課題等に重点的・効率的に配分することによって、区民福祉の向上を図っていきます。

## 2 予算規模

一般会計予算は、889億円余で、前年度比0.4%、3億円余の増となりました。

特別会計では、国民健康保険特別会計は共同事業拠出金の増などにより6.8%の増、後期高齢者医療特別会計は広域連合納付金の増などにより1.6%の増、介護保険特別会計は保険給付費の増などにより8.0%の増となっています。

一般会計と特別会計の合計額は1,347億円余で、前年度比2.2%増となりました。

予 算 規 模

単位：千円

会計区分	平成23年度	平成22年度	増減額	増減率
一般会計	88,945,193	88,577,058	368,135	0.4
特別会計	45,838,144	43,260,833	2,577,311	6.0
国民健康保険特別会計	24,985,384	23,402,651	1,582,733	6.8
老人保健医療特別会計	0	35,422	△35,422	皆減
後期高齢者医療特別会計	5,216,133	5,131,481	84,652	1.6
介護保険特別会計	15,636,627	14,475,284	1,161,343	8.0
用地特別会計	0	215,995	△215,995	皆減
合計	134,783,337	131,837,891	2,945,446	2.2

### 3 一般会計予算の概要

#### (1) 歳入予算（区の収入）

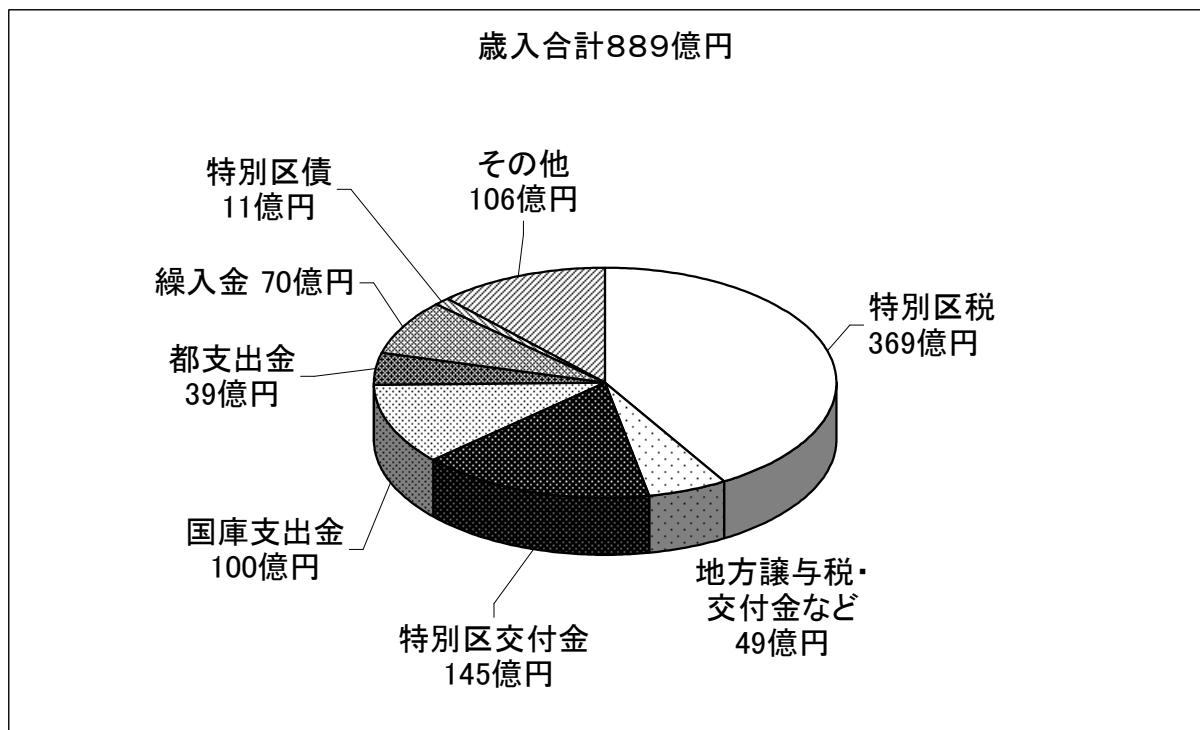
区税収入は368億円余で、前年度比7.7%、30億円余の減となっています。

都区財政調整に基づく特別区交付金は、ほぼ22年度当初予算と同規模の前年度比0.3%、4千万円余の増となっています。

また、その他的一般財源では、利子割交付金が1億円余、配当割交付金が3千万円余などいずれも都税収入の見込みを反映して増となっています。株式等譲渡所得割交付金は、株価回復を見込み、前年度比39%、3千万円余の増となっています。

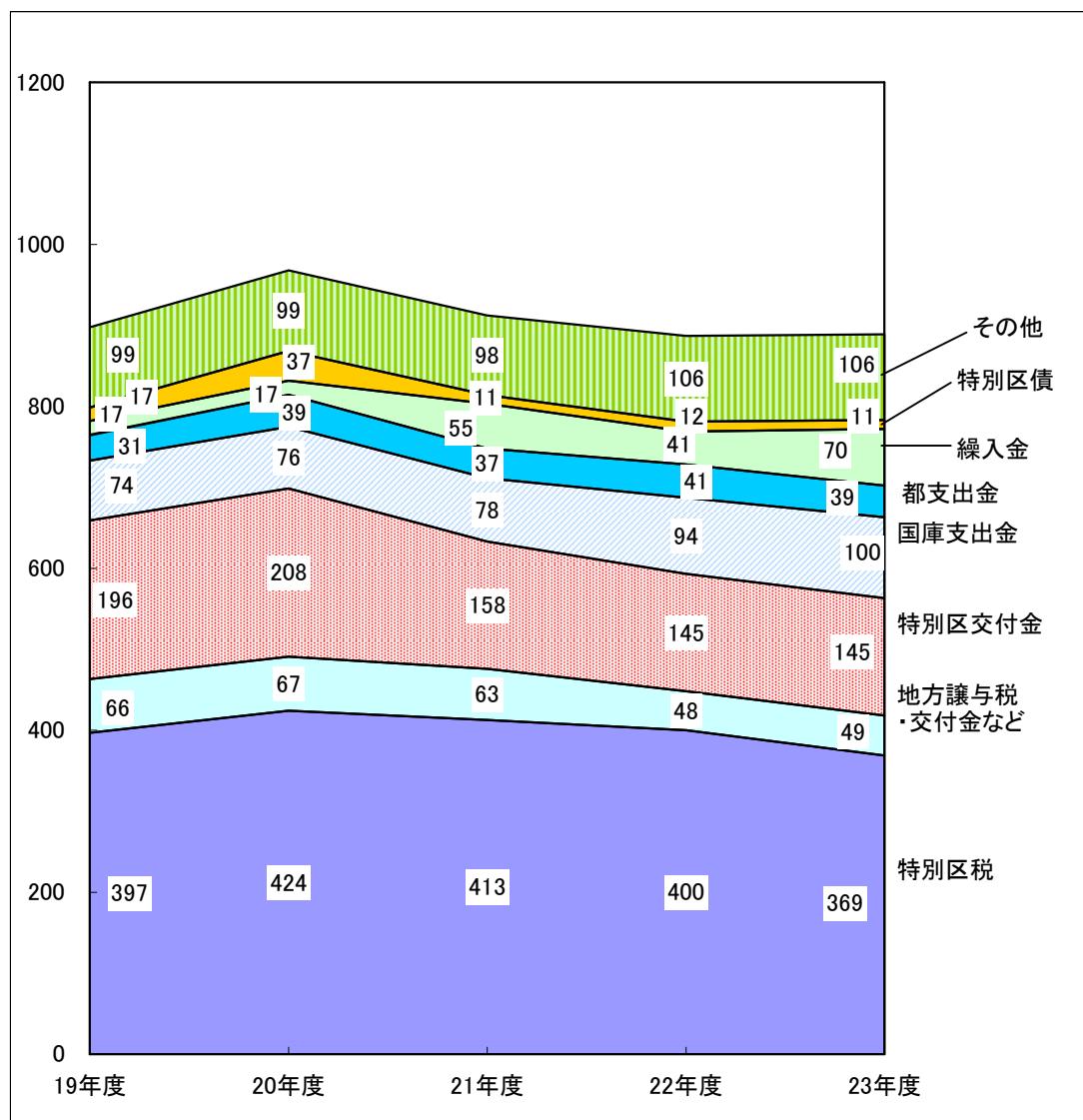
国庫支出金は、子ども手当支給額の増などに伴い7.4%、6億円余の増、都支出金は、補助対象事業費の減などに伴い4.6%、1億円余の減となっています。

特別区債は、12.6%、1億円余の減となっています。



## 歳入予算の推移

(単位：億円)



※「地方譲与税・交付金など」は、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金及び交通安全対策特別交付金の合計です。

## 【用語の説明】

○特別区債 区が外部（政府資金、民間資金など）から資金を調達する長期の借入金のことで、施設建設などで多額に資金を要する時に発行します。長く利用される公共施設などについては、世代間の負担を公平にすることができます。（☞42ページ）

## (2) 岁出予算(区の支出)

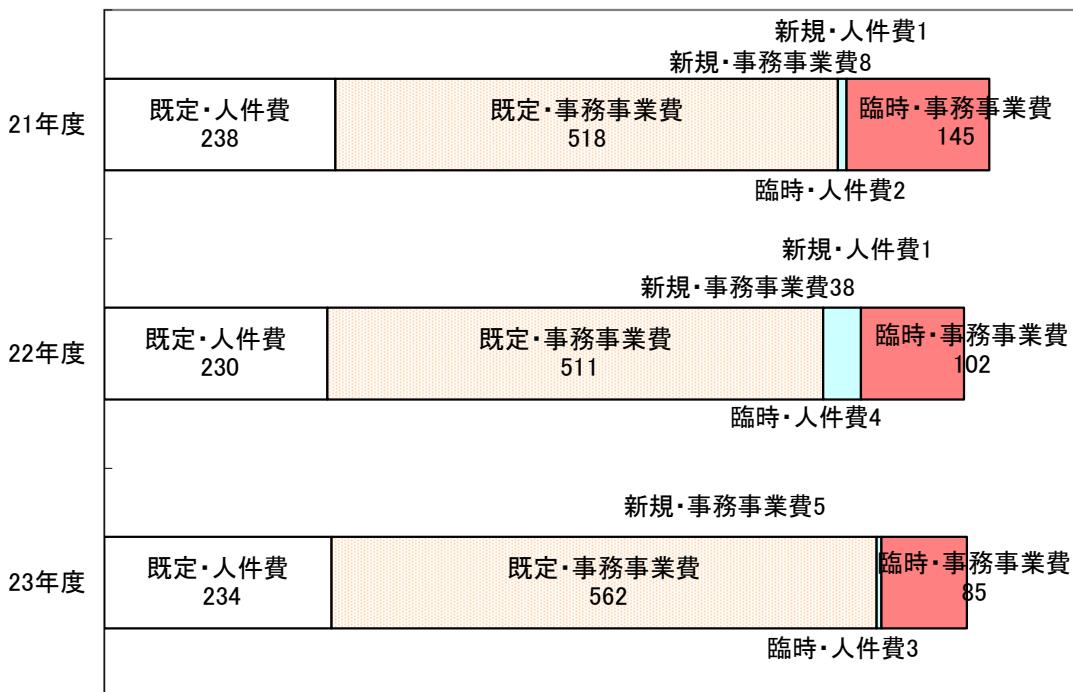
既定経費は791億円余で、前年度の子ども手当に係る経費の既定化などにより前年度比6.9%、50億円余の増となっています。既定経費のうち人件費は234億円余で、定年退職者数の増などにより前年度比2.0%、4億円余の増となっています。

レベルアップ経費は、子ども手当支給額の増などにより前年度比993.8%増の4億円余となり、新規経費は、前年度の子ども手当に係る経費の既定化などにより前年度比85.6%、32億円余の減で5億円余となっています。

臨時経費は87億円余で、前年度の目黒本町福祉工房建設、興津自然学園整備など投資的経費の減などにより前年度比17.3%、18億円余の減となっています。

### 経費区分別の予算額

(単位: 億円)



#### 【用語の説明】

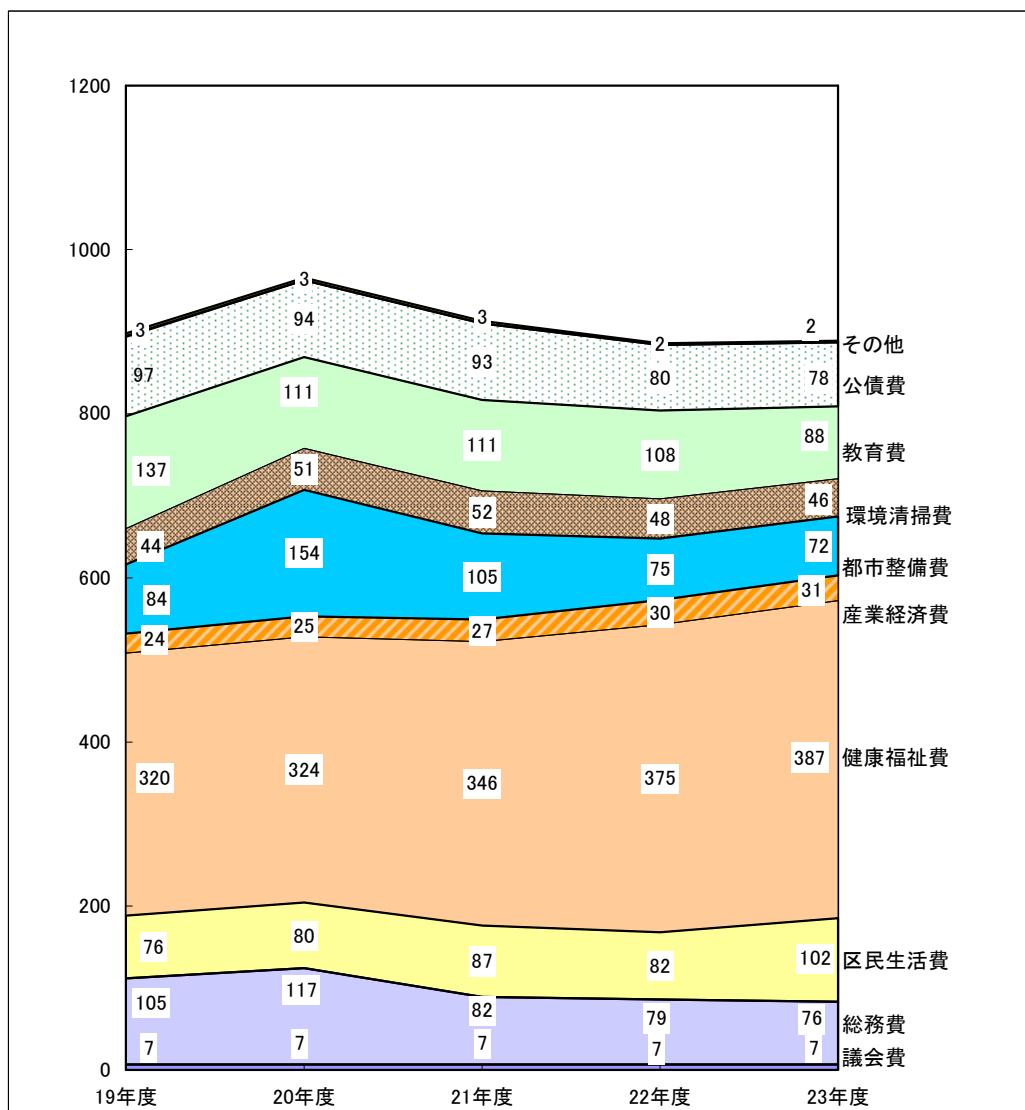
○既定経費 現行の行政水準を維持していくのに必要な経費をいいます。

○新規経費 新たな事務事業の開始に伴う経費で、翌年度以降経常化すると、既定経費となります。

○臨時経費 建設事業など、一時的または臨時に投入する経費をいいます。

## 歳出予算の推移

(単位: 億円)



## 4 暮らしサポート23 ~区民の暮らしを支える緊急経済対策~

平成20年秋以降の大幅な景気悪化に伴う区民生活の不安を払拭すべく区ではこの2年間緊急経済対策「暮らしサポート21」及び「暮らしサポート22」に取り組んできました。

我が国の経済は、慢性的なデフレが続いている、失業率が高水準で推移するなど雇用情勢も依然として厳しく、いまだ本格的な回復軌道に乗っているとはいえない状況にあります。

今後も先行き不透明な景気情勢の継続が懸念される中、区民生活を支えるため23年度においても「暮らしサポート23」として緊急経済対策に取り組みます。

区内中小企業等支援策	428,373千円	6事業	
生活支援策	1,279,982千円	30事業	(うち新規12事業・充実2事業)
合計	1,708,355千円	36事業	(うち新規12事業・充実2事業)

### ○区内中小企業等支援策

単位:千円

項目名	内容説明	予算額	備考
1 中小企業融資あっせん制度の拡大		423,365	
相談窓口の実施	○中小企業信用保険法の認定事務要員として、非常勤職員2人を配置します。 ○制度融資利用希望者の増大や経営安定資金特別融資の通年受付に対応するため、商工経営相談員、商工融資相談員を増員します。	11,358	
小口零細企業資金融資	○利子補給(経営支援適用者) 当初3年間全額補給 ○信用保証料(経営支援適用者)=9割補助 ○据置期間の延長(6か月から1年)の継続 ○預託金の増額	321,218	
経営安定資金特別融資	○利子補給 当初3年間全額補給 ○信用保証料=9割補助 ○通年受付の継続	90,789	
2 ビジネスサポート事業	専門家による助言、企業診断を希望する事業所に中小企業診断士などの専門家を派遣します。	750	
3 公衆浴場事業者燃料費助成	月額最高4万円までを補助します。	3,192	
4 商店街街路灯助成	○電気料:1本年額5,160円を補助します。	1,066	
合計		428,373	

## ○生活支援策

項目名	内容説明	予算額	備考
1 低所得者に対する支援策		80,314	
住宅手当緊急特別措置事業	離職者で他の雇用対策の対象とならない低所得者のうち、就職活動を行う者に対して住宅手当を給付します。	52,820	充実
路上生活者等に係る宿泊施設の確保	路上生活者等に係る緊急対応用の宿泊施設として、引き続き4床を確保し、緊急時の円滑な対応を図ります。	1,917	
低所得者利用負担軽減	訪問介護・訪問入浴など予防給付10事業、介護給付11事業について、本人負担を5%軽減します。	13,336	
通所施設における食費実費額の一部補助	通所施設における食費の実費額について、一部補助を行います。	6,020	
高齢者支援員の設置	福祉事務所における高齢者生活支援の充実強化や介護サービス利用の適正化に向け、介護支援専門員などの経験を持つ高齢者支援員を設置します。	6,221	新規
2 雇用に対する支援策		129,928	
ワークサポートめぐろ事業	求人情報の提供などを行う「ハローワーク相談室」、キャリアアドバイザーによる専門相談窓口「キャリア相談コーナー」、ミニセミナーを継続して実施します。	9,504	
外国人住民の住民基本台帳制度への移行による雇用の確保	外国人住民の住民基本台帳制度への移行に当たり「緊急雇用創出事業臨時特例補助金」を活用して臨時職員を雇用し、移行事務を円滑に進めていきます。	1,368	新規
保健福祉に関わる計画改定による雇用の確保	保健医療福祉計画の改定に当たり「緊急雇用創出事業臨時特例補助金」を活用して臨時職員を雇用し、改定作業を円滑に進めていきます。	226	新規
建築確認台帳の電子化による雇用の確保	建築確認台帳を「緊急雇用創出事業臨時特例補助金」を活用して電子化し、建築物に関する照会及び証明書発行の迅速化と、台帳の保全を図ります。	2,736	
めぐろ歴史資料館所蔵資料のデジタルデータ化による雇用の確保	めぐろ歴史資料館所蔵資料を「緊急雇用創出事業臨時特例補助金」を活用してデジタルデータ化し、資料の画像閲覧ができるように整備します。	14,848	新規
介護施設職員の待遇改善	高齢者在宅サービスセンター・特別養護老人ホームにおける介護職員の待遇を改善します。	31,704	
特別養護老人ホーム正規職員化	指定管理者が契約職員として配置してきた職員の正規職員化と正規職員の増員について、事業の安定的運営・充実が図れるよう、引き続き経費負担を行います。	61,942	
特別養護老人ホーム看護師の充実	区立特別養護老人ホーム契約看護師勤務時間を延長し、利用者の重度化に対応します。	1,600	
障害福祉施設職員の待遇改善	区立障害福祉施設(指定管理施設)に勤務する職員の待遇を改善します。	6,000	

項目名	内容説明	予算額	備考
<b>3 消費者に対する支援策</b>		10,682	
消費者行政の充実	区民の消費者力向上と消費者被害の防止などを図るため、「地方消費者行政活性化交付金」を活用して広報・啓発活動の充実や備品整備などを行います。	8,234	
消費生活相談体制の充実	消費生活相談を充実するため相談員の出張相談などを行います。	140	
消費者活動の支援	消費者・生活者重視の社会づくりに向けた普及啓発活動を推進するため、第40回消費生活展記念事業を実施します。	2,308	新規
<b>4 子育て世代に対する支援策</b>		1,059,058	
児童デイサービス利用促進助成	幼児療育通所施設（すくすくのびのび園）などの利用者負担額を10%⇒5%に軽減します。	1,068	
私立幼稚園保育料補助	私立幼稚園児保育料の保護者負担軽減を図るため、区独自の月額補助を拡充します。（月額@9,700円⇒@10,000円）	10,613	充実
中央町保育園増築・改修	中央町保育園の改修にあわせて増築を行い、定員の拡大を図ります。（23年度中 37名増）	180,411	
南保育園改修工事	老朽化が進んでいる南保育園の大規模改修、耐震補強工事を行います。（23年6月～24年1月）	326,473	新規
第二ひもんや保育園開設	24年1月に新園舎の工事が完了する第二ひもんや保育園の定員増（17名）に伴う備品整備等を行います。（定員増は24年4月予定）	19,623	新規
保育定員の弾力化	区立保育園1、2歳児定員の弾力化を行い、23年4月時点で1歳児23人、2歳児24人受入を増やします。	84,092	
認証保育所運営費補助	22年4月に開設した認証保育所（定員45人）に対し、運営費等を補助します。	43,669	
認証保育所等保育料助成	認証保育所などの利用者の負担軽減を図るため、保育料助成を行います。（世帯所得438万8千円未満）	25,800	
保育室の認証保育所移行支援	認証保育所への移行を予定している保育室の移行経費を補助します。	10,000	新規
私立保育所保育委託扶助費	23年4月に開設する認可保育所（定員120人）に対して、国庫負担金及び都負担金に加えて区負担金を加算して補助します。	138,731	新規
賃貸型認可保育所整備費補助	待機児童が多くかつ転入等による需要増が予測される地区への賃貸型認可保育所（定員70人）の整備について、事業者に対して施設整備経費等を補助します。	81,375	新規
私立東が丘保育園・学童保育クラブ改築支援	耐震上問題があるため改築を計画している私立東が丘保育園（学童保育クラブ併設）に対して整備費を補助します。（24年1月～25年1月）	39,373	新規
中根小通学区域内への学童保育クラブ新設	高い保育需要に対応するため、中根小学校内で施設整備を行い、中根小学校内学童保育クラブの児童受け入れ可能枠を拡大します。	97,830	新規
合 計		1,279,982	

## 5 実施計画事業一覧

区では、まちづくりを計画的に進めていくために長期計画を定めています。その一つである実施計画は、区の事業のうち計画的に推進する必要がある主要な事業についての5か年（22～26年度）の行財政計画です。財源の裏付けを持った年度別の事業量を定めることを基本に、事業の着実な推進を図ることを目的としています。

「実施計画」の23年度予算計上は、以下のとおりです。

番号	事業名	22～26年度 総事業費	23年度 事業費
<b>豊かな人間性をはぐくむ 文化の香り高いまち</b>			
1	学校のICT環境整備	6億4,212万円	1億629万円
コンピューター教室、普通教室、特別教室の機器などの入替え、各学校へのプロジェクタ及び実物投影機の整備、校内LANの張替え・拡充などを進めます。			
【学校運営課】			
(23年度予算計上内容) ・小中学校でのコンピューター借上げ、校内LANの整備など。			
2	自然宿泊体験教室事業の実施	1億1,572万円	5,386万円
自然宿泊体験教室事業を小学校4年生から中学校1年生までを対象に実施します。			
【教育指導課】			
(23年度予算計上内容) ・興津自然学園、ハケ岳林間学園における自然宿泊体験教室事業の実施。			
3	特別支援学級の増設	4,658万円	2,819万円
情緒障害学級を各地区に1校となるよう小学校に増設します。また、中学校1校にも増設します。			
【教育指導課】			
(23年度予算計上内容) ・23年度開設の情緒障害学級の施設改修、備品整備など（第七中学校）。			
<b>ともに支え合い 健やかに安心して暮らせるまち</b>			
1	交通バリアフリー整備計画の推進	1,222万円	495万円
だれもが安全で快適に移動できる社会を実現するために、交通バリアフリー整備計画を推進します。			
【都市計画課】			
(23年度予算計上内容) ・交通バリアフリー推進基本構想の改訂など。			
2	緑が丘駅周辺のバリアフリー整備	5億1,897万円	4億6,962万円
鉄道事業者による駅のバリアフリー改修計画にあわせて、緑が丘駅周辺の駐輪場や自由通路などのバリアフリー整備を推進します。			
【都市整備課】			
(23年度予算計上内容) ・歩行者広場、自由通路、自転車場などの整備費。			
3	学童保育クラブの整備（新設等）	2億4,554万円	9,783万円
学童保育需要の高い地域に学童保育クラブを開設し、子どもの居場所の確保と放課後の健全育成を図ります。			
【子育て支援課】			
(23年度予算計上内容) ・中根小学校敷地内に整備する学童保育クラブの工事費、備品整備経費など。			
4	保育所の整備（新設）	4億9,350万円	1億3,873万円
区有地などを活用して保育所を整備・確保し、急増する待機児の解消を図ります。			
【保育計画課】			
(23年度予算計上内容) ・23年4月開設の夢花保育園の運営経費。			

番号	事業名	22~26年度 総事業費	23年度 事業費
<b>ともに支え合い 健やかに安心して暮らせるまち（続）</b>			
5	保育所の整備（改築・改修） 老朽化した園舎を改築・改修し、良好な保育環境の確保を図るとともに、定員増により保育需要に対応します。	7億5,165万円	5億2,651万円
【保育計画課】 (23年度予算計上内容) ・中央町保育園増築・改修（工事・仮設園舎リースなど）。 ・南保育園改修（工事・仮設園舎リースなど）。 ・第二ひもんや保育園改築（備品整備、移転経費など）。			
6	地域密着型サービス基盤の整備支援 高齢者が地域で安心した生活を続けられるよう、国制度の上乗せによる介護基盤整備補助を実施し、地域密着型サービス事業者の参入を促進します。	11億5,566万円	2億8,270万円
【介護基盤整備課】 (23年度予算計上内容) ・認知症高齢者グループホーム 4ユニット（定員9人×4）の整備費補助。 ・小規模多機能型居宅介護拠点 2か所（定員20人×2）の整備費補助。			
7	福祉工房の整備 福祉工房の機能の充実と定員の拡大を図るため、改築・移転を行います。	5億6,477万円	85万円
【障害福祉課】 (23年度予算計上内容) ・旧上目黒福祉工房、旧中央町福祉工房の不用品廃棄経費。			
<b>環境に配慮した 安全で快適なまち</b>			
1	自然環境の保全と回復 みどり豊かな環境を守り、育て、次世代へ引き継いでいくため、自然環境基礎調査を実施するほか、ビオトープ活動支援、ビオトープエコアップ支援を行い、自然環境を保全・回復します。	3,151万円	97万円
【みどりと公園課】 (23年度予算計上内容) ・区民による身近な生物調査。 ・ビオトープエコアップ支援（1校）。			
2	民有地のみどりの保全と創出 保存樹木などの保全や屋上緑化・壁面緑化などの推進により、民有地のみどりを保全・創出します。	4,446万円	762万円
【みどりと公園課】 (23年度予算計上内容) ・保存樹木などへの助成。 ・屋上・壁面緑化への助成。			
3	目黒川総合環境整備事業 目黒川総合環境整備基本計画に基づき、沿川道路の整備など目黒川の環境整備を行います。	1億2,150万円	3,360万円
【土木工事課】 (23年度予算計上内容) ・目黒橋から柳橋までの左岸の道路整備。			
4	上目黒一丁目旧国鉄清算事業団宿舎跡地の有効活用 上目黒一丁目旧国鉄清算事業団宿舎跡地に定期借地権を設定し、民間活力を活用して周辺環境と調和のとれたまちづくりを推進します。	837万円	559万円
【地区整備計画課】 (23年度予算計上内容) ・募集要項を定め事業者の募集を実施。			

番号	事業名	総事業費	事業費
<b>環境に配慮した 安全で快適なまち（続）</b>			
5	大橋一丁目周辺地区の整備	2億2,221万円	2,905万円
大橋一丁目周辺地区を広域生活拠点として整備し、あわせて地域の街づくり活動支援を行います。 【地区整備事業課】			
(23年度予算計上内容) ・街づくり活動支援。 ・環状六号支線横断歩道化調査及び案内板詳細設計。 ・国道横断デッキ整備費負担金。			
6	自由が丘駅周辺地区の整備	2億6,896万円	4,191万円
自由が丘地区において、駅前広場の景観形成や自由が丘固有の特徴ある街並みの誘導により、だれもが安全で快適に移動できる暮らしやすい街の実現を図ります。 【地区整備事業課】			
(23年度予算計上内容) ・街づくり活動支援、都市再生整備計画の事後評価フォローアップ調査。 ・ヒロストリート整備、サンセットエリアの表層整備補助・私道整備助成。			
7	中目黒駅周辺地区整備	1,029万円	433万円
都市計画マスターplanで広域生活拠点として位置づけられている中目黒駅周辺地区において、地区整備構想などを策定するとともに、地区街づくり活動を支援します。 【地区整備計画課】			
(23年度予算計上内容) ・中目黒駅周辺地区整備方針策定。			
8	学芸大学駅周辺地区整備	1億8,700万円	3,362万円
目黒区都市計画マスターplanに基づき、学芸大学駅周辺を地区生活拠点として整備するため、地区整備計画に位置づけた事業を推進し、地域特性に応じたきめ細やかな街づくりを進めます。 【都市整備課】			
(23年度予算計上内容) ・あんしん歩行エリア形成事業による交通安全施設整備、24年度実施予定の事業に係る詳細設計。 ・商店街景観などの街づくり活動支援。 ・西口緑地整備。			
9	木造住宅密集地域整備事業	4億9,206万円	1,091万円
老朽木造建築物などが密集し公園などの公共施設が不足している地域において、良質な住宅への建替えを促進するとともに、公共施設の基盤整備を進め、居住環境及び防災性の向上を図ります。 【都市整備課】			
(23年度予算計上内容) ・目黒本町地区及び目黒本町六丁目・原町地区における整備計画推進事業費、建替え助成（1棟）、共同建替えなどへのコンサル派遣。			
10	西小山駅周辺の街づくりの推進	6,690万円	731万円
老朽木造住宅が密集する西小山駅周辺において、地元意向を踏まえ関係機関とも連携しながら、地域の防災性の向上と住環境の整備を図るとともに、まちの拠点となる街づくりを進めます。 【都市整備課】			
(23年度予算計上内容) ・駅周辺整備に向けた街づくり活動支援。			
11	公園等の整備	31億3,865万円	4億862万円
立体都市公園制度を活用した公園・緑地の整備、木密事業や跡地の活用などによる公園の整備を行います。 【みどりと公園課】			
(23年度予算計上内容) ・東山公園拡張部維持管理経費。 ・大橋一丁目公園（仮称）整備。			

番号	事業名	22~26年度	23年度
		総事業費	事業費
<b>環境に配慮した 安全で快適なまち (続)</b>			
12	公園等の改良	6億9,665万円	5,471万円
老朽化した公園・公衆便所について、①バリアフリー化 ②防災・防犯性の向上 ③施設の安 全確保 ④利用促進 ⑤公衆便所の環境改善 ⑥住民参加による公園管理などの観点に考慮し、 順次計画的に必要な改良を図ります。			
【みどりと公園課】			
(23年度予算計上内容)			
・五本木東児童遊園改良。 ・呑川緑道改良。			
13	駒場公園の文化財保存・修復整備	3億5,927万円	1,641万円
平成20年3月に東京都指定有形文化財に指定された駒場公園について、和館・庭園などの整備 を行います。			
【みどりと公園課】			
(23年度予算計上内容)			
・駒場公園和館等保存・修復基本設計。 ・庭園保存・修復詳細設計。			
14	都市計画道路の整備	7億4,183万円	5億1,456万円
円滑な道路交通や歩行者の安全・快適な通行の確保とともに、災害時の避難路及び延焼遮断帯 として防災性の向上に寄与するよう都市計画道路を整備します。			
【土木工事課】			
(23年度予算計上内容)			
・補助30号線整備（用地取得・物件補償・測量・事業再評価）。			
15	電線類の地中化	3億5,740万円	9,445万円
防災機能の強化、安全な歩行空間の充実や良好な都市景観を形成するため、電線類の地中化を 推進します。			
【土木工事課】			
(23年度予算計上内容)			
・都立大学駅前の電線類地中化に伴う本体、街路築造工事、移設補償。			
16	通学路・裏通りの交通安全対策	3,175万円	277万円
通学路や裏通りの交通安全対策を行い、区民の安全で快適な道路環境を整備します。			
【土木工事課】			
(23年度予算計上内容)			
・1小学校区域。			
17	高齢者福祉住宅の確保	12億4,847万円	3億7,525万円
住宅に困窮する高齢者に対して住宅を提供することにより、その生活の安定と福祉の増進を図 ります。			
【住宅課・高齢福祉課】			
(23年度予算計上内容)			
・目黒本町二丁目複合施設整備費。			
18	防災行政無線デジタル化・災害情報システム機能更新	6億5,090万円	8,837万円
地域系・移動系無線をデジタル無線に再整備します。機器類が老朽化している災害情報シス テムを新たなシステムに更新します。			
【防災課】			
(23年度予算計上内容)			
・災害情報システム更新。			
19	下水道管直結型トイレの整備	2,858万円	915万円
第一次避難場所で使用するトイレとして、下水道管直結型トイレを整備します。新設予定の公 園などにも計画的に整備します。			
【防災課】			
(23年度予算計上内容)			
・中学校2校。			

番号	事業名	22~26年度 総事業費	23年度 事業費
<b>環境に配慮した 安全で快適なまち（続）</b>			
20	総合治水対策の推進	2,478万円	130万円
局地的集中豪雨による浸水被害を最小限にするため、ハード面・ソフト面での対策を強化し、総合的な治水対策を推進します。 【都市計画課】			
(23年度予算計上内容) ・雨水浸透枠の設置（3か所）			
21	都市防災不燃化促進事業	2億2,730万円	3,668万円
補助46号線目黒本町三丁目地区・目黒本町五丁目地区において、大震災に伴い発生する市街地火災から住民の生命・財産の安全を確保するとともに、居住環境の整備に寄与するため、建替え助成による不燃化促進事業を推進します。 【都市整備課】			
(23年度予算計上内容) ・補助46号線目黒本町三丁目地区建替助成（個別1棟）。 ・補助46号線目黒本町五丁目地区建替助成（個別7棟）。			
22	民間建築物の耐震化促進	4億4,243万円	5,934万円
「目黒区耐震改修促進計画」に基づき、耐震診断助成・耐震改修助成などの耐震化支援策を実施します。 【建築課】			
(23年度予算計上内容) ・耐震診断助成：木造150棟、非木造4棟。 ・耐震改修助成：木造20棟、非木造1棟。 ・木造除却助成：3棟。 ・普及・啓発。			
23	住宅用新エネルギー及び省エネルギー機器設置助成	7,200万円	1,152万円
二酸化炭素の排出量削減に配慮した太陽光発電システムなど、住宅用新エネルギー・省エネルギー機器を設置し、又は設置しようとする区民に対し、その費用の一部を助成します。 【環境保全課】			
(23年度予算計上内容) ・太陽光発電システム等設置費助成。			
<b>実施計画事業 23年度予算計上額 合計</b>			35億5,756万円